



秘密会

「私たちの敵は沈黙だ」 マクロン・フランス大統領夫人

23日、文教委員会が開会されました。当初、非公開と通知があった会議が「秘密会」とされました。当該生徒などの情報に触れることも配慮し「非公開」と理解していましたが、当日「秘密会」委員長提案され「秘密会」となりました。

「秘密会」は松原のりかず経験では、かつてD議員がT議員へ「立命館誘致議案」について「賛成」を迫ったとされる事案で「政治倫理審査会」が開会され、これが秘密会でした。議会は原則公開であり、市民に開かれた議会が民主主義の原則でもあります。より良い行政への基本でもあります。元高校教師のマクロン・フランス大統領夫人は「私たちの敵は沈黙だ」と述べ、問題を表面化させて対処する必要性を訴えた。とG7の教育省の出した「いじめと闘う」G7宣言に関する報道で触れられていました。

がん検診誤通知で 目立たない基本 市民の健康を守る政策

「がん検診の通知が間違っていた」という極めて問題の事例が発生しました。転記ミスによる「誤通知」が受診市民の医療対応の遅れを起こしたとの判断もできます。毎年「がん検診」の受診率に付いて予算時に話題になりますが、受診率以前の問題。岐阜市の健康行政（命をおあずかりしている）の前提が問われる問題です。

松原のりかすの妻は、川崎重工に勤務しておりまし時に、職場の健康診断で肺がんの疑いを指摘され、県病院で再検査を行い、1ヵ月検査し「肺がん」を確定診断。当時、医師は「よく、こんな小さなレントゲン写真で発見してもらえましたね」と言われました。この時から約20年の闘病生活も、発見して頂いたので20年がありました。

報道によれば1人での転記は9年前からと。おもてにはあまり出ない、毎年行なう、地味な基本の仕事。ですが「なぜ、この仕事があるのか？」いつの間にか忘れられていたのでしょうか？ また、「人間での転記」というシステムが放置されていた事にも驚かされます。情報システム管理で自動で「要検査」通知まで出せる「システム開発」をすべきです。

市民の目に触れやすい、健康ウォークなど、いわゆるスマートウエルネスへの予算を割きすぎて、目立たないが基本の作業、事業への予算配分が忘れられていなかったか？健康部も、そんな予算要求に思いも至らなかったか？

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

男女共同審議会に求められるものは 庁内は人事課で

男女共同審議会の報告、方針の進捗状況で岐阜市役所内の共同参画に関する報告が、多くの時間を使われています。その多くが職員の労働条件、実態に関するものが多く、本来その事は、人事課と労働組合で解決されるべき事案。市民参画部としては、市内一般事業所、会社内の男女参画の現状改善に努力されるべき立場では？ 商工会議所会員企業の男女参画実態等を把握し、改善提案などをされるのが審議会の仕事では？ と思いました。

感電事故と日常の安全意識・労働実態

7月24日に、青山中学校屋上のキュービクル内の高圧負荷開閉器の写真を撮ろうとして、6600ボルトに感電した事故がありました。事故報告のFAXを見て、まず「よく生きていたな」と思いました。そして、「何で？」と疑問を持ちます。

変圧器は通電中は「ブーン」とウナリ音がして、けっして気持ちの良い物ではありません。通電中の狭いキュービクルを開けるのもやりたくない事です。撮影者の専門は機械担当であり、当日、電気主任技術者（委託）の立会いは無かったとの事。教育委員会施設課の担当者が同行していたので、救急連絡が取れたと思われませんが、事故後の対応も心配された事例です。再発防止策「停電点検時において、機器仕様を写真撮影する」は通電中は「仕事をしない」ことであり、「事故は確かに起きない」ことになります。

仕事時に、なぜ、「電気主任技術者の立会い」を要請しなかったか？ 立会いがあれば主任（保安協会？）が危険回避の指示を出していたと思われます。また、設計書の整備はどうだったのか（写真が必要となる）？ 業務量の増大・繁雑など「原因」はFAX内容以外にもありそうです。国の技術者研修で事故例テキストが配付されると思われますが、事故例に岐阜市役所の感電事故が載る事になると思われます。



松原のりかず
☎058-253-2500